

平成22年度 循環器内科後期研修プログラム

〔目的、特徴〕

将来循環器専門医をめざすレジデントコースである。

当院は、呉西地区における唯一の3次救急病院であり、365日24時間いつでも速やかに質の高い循環器医療が提供できるように体制を整え、患者さま中心の医療を実践している。

スタッフは、日本心血管カテーテル治療学会指導医・日本心血管インターベンション学会指導医1名、日本循環器学会専門医5名をはじめ計7名で循環器診療に携わっている。当院は日本循環器学会認定循環器専門医研修施設であり、科学的根拠に基づいた医療（EBM）を心掛けているが、一方、金沢大学医学部とも協力しながら高度先進医療、最新の循環器治療も行っている。

診療内容は、循環器疾患全般を幅広く診療しており、特に医療の実践に当たってはチーム医療を重視し、各部署（医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、リハビリテーション部）の協力のもとに全人的医療の実現を目指している。

病院の理念である「患者さまが信頼・安心・満足できる病院」を目指し、循環器内科の診療を行っている。

研修責任者：

山本 正和

（日本心血管カテーテル治療学会指導医、日本心血管インターベンション学会指導医、日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医・専門医）

共同責任者：

桶家 一恭（日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション学会認定医、日本内科学会認定医）

藤本 学（日本循環器学会専門医、心臓リハビリテーション指導士、日本内科学会認定医）

打越 学（日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医）

木山 優（日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医）

藤田 崇志

土田 真之（日本内科学会認定医）

〔一般目標〕

あらゆる循環器疾患に対して、専門的な診断と治療が行えるようになることを目標とする。

〔行動目標〕

1年目は、専門医の指導の下に診断および治療計画を立案し、実行できる。

2年目は、専門医とともに循環器疾患の診断および治療計画を主体的に立案し、実行できる。

認定内科医を取得する

3年目は、専門医としてより発展的、高度な診断および治療計画を立案し、実行できる。

内科専門医、循環器専門医の取得の準備。

〔研修の内容〕

1年目：

当直業務について内科系急患のトリアージを行う。循環器疾患全般について聴診などの理学的検査、心電図、心エコーなどの非観血的検査に加え、RI,CTなどをもとに循環器疾患の基本的診断能力を修得する。またそれらに基づいて主に保存的治療の実際を修得する。

2年目：

当直業務について循環器疾患の救急診療などを行う。
心臓カテーテル検査、電気生理学的検査などの観血的検査を行い、観血的治療の補佐を行う。

3年目：

IABP、一時的体外ペースメーカーの植え込みなど緊急を要する観血的治療の一部を修得し、リスクの少ない症例の冠インターベンションを専門医の指示の下で行える。